

喜田議員 皆さん、おはようございます。私からは、事前に通告していましたが、次の2点について、ご質問させていただきます。まず初めに、総合型地域スポーツクラブ設立への促進をについてお伺いします。徳島県内では、25市町村のうち、23の市町村で、総合型地域スポーツクラブが運営されており、県内には、36の組織団体があるようです。残念ながら、牟岐町には、「総合型地域スポーツクラブ」に該当するような組織の運営は、現在されていません。牟岐町にこのような組織がないのは、町民の皆さんが、このような組織の概要をあまり知らないことや、設立や運営に向けての手段がわからないなどが、原因にあげられます。また、町の人口が少ないことも要因の一つとなっているようです。この「総合型地域スポーツクラブ」は、民間企業などが運営するのではなく、地域住民が主体となり運営する、公共性のあるスポーツクラブで、子どもから高齢者まで、男女の区別なく参加ができ、スポーツを通じて幅広い世代間の交流や、地域コミュニティの活性化を促進し、町を元気にできるような、社会貢献活動に取り組む組織が多いようです。美波町には、「ゆきスポーツクラブ」と「スポーツネットワークひわさ夢くらぶ」があります。また、海陽町では、「NPO法人海陽愛あいクラブ」が運営されています。こちらには、牟岐町民も会員になっておられる方がいらっしゃると思います。住民が主体となって取り組み、運営を行うスポーツクラブですが、県内には、神山町や北島町のように、行政が運営に携わっている町もあるようです。本町では、各種スポーツクラブや、サークルの数も多くはなく、このような「総合型地域スポーツクラブ」の存在を知らない方もいらっしゃると思います。また、興味があっても、設立に向けて、どこに相談し、どのように取り組めば良いのかわからない方もいらっしゃるでしょう。スポーツを通じて、町民の皆さんが地域社会へ参加し、幅広い世代の交流を行い、地域コミュニティの活性化を促進し、運動による健康寿命の延伸や医療費の抑制にもつながっていく、大変メリットの多いこのような組織の仕組みを町民の皆様にもっと知っていただき、組織の設立に向けての案内や、設立への促進などを積極的に促していくことも必要ではないかと考えますが、このことについて、どのようにお考えかお聞かせください。次に、サル被害対策についての経過状況及び新たな取り組みについてお伺いします。令和2年9月議会におきまして、サルによる被害状況や対策について、ご質問をさせていただきました。その後、一年半余りが経過しましたが、これまでどのような対策を行ってきたのか、また、現在の被害状況や今後の取り組みについて、どのようなものかお伺いします。本町では、今もサルによる食害は深刻で、農家はもとより、たくさんの方々がサルの被害に直面し、大変困っています。当時、担当課長よりサルの群れを把握するための発信機を使ったテレメトリー調査や、移動式大型檻などの導入を検

討するとともに、捕獲檻用の餌の確保を農家と連携し廃棄する作物を譲り受け利用するとご答弁をいただきましたが、その後、これらの調査や移動式大型檻の導入はされているのでしょうか。また、餌となる農家さんからの廃棄作物の提供はスムーズに進んでいるのでしょうか。一番関心があるところの、その後のサル捕獲数は増えたのでしょうか。先日、徳島新聞にサル被害深刻「大型檻で集団捕獲」と大きな見出しの記事が掲載されていましたが、それによると、捕獲方式が工夫され、従来のものより多くの個体を捕獲できるとして、環境省も推奨しているとのことですが、この企画は、新しい取り組みなのでしょうか。それとも、以前より検討していた大型檻のことでしょうか。それによりますと、本町では県から1基借りて、設置を行ったとありましたが、1基の価格が約100万円程とのことで、現在の町財政では購入は厳しいかと思いますが、借りている1基を、複数基に増やすような計画はしているのかなど、今後のサル被害対策について、どのように取り組んで行かれるのか、ご見解をお聞かせください。よろしくお願ひします。

一山議長 枳富町長。

(枳富町長 登壇)

枳富町長 喜田議員のサル被害対策についての経過状況及び新たな取り組みは。についてのご質問にお答えします。サルによる農作物への被害につきましては、農業者が一生懸命育てた作物が収穫直前に被害を受けるので、生産者にとっては、今までの労力が報われず大変悔しい思いをしており、中山間地域が多い本町にとっては大きな地域課題の一つであると認識をいたしています。非常に頭を抱えるサル対策でございますが、令和3年度に徳島県がニホンザル対策強化事業の施行地に牟岐町を選定していただき、サル対策の地域研修会の実施、サルの行動範囲調査や組立移動式大型檻を設置し、対策強化を進めてきました。今後も、徳島県や牟岐町猟友会と連携して、会員の皆様のお力をお借りしながら、サルの被害が減少するよう努めてまいりたいと考えています。被害状況等それぞれのご質問につきましては、担当課長よりお答えをします。総合型地域スポーツクラブ設立への促進を。につきましては、教育次長からお答えをさせていただきます。よろしくお願ひします。

一山議長 久岡教育次長。

(久岡教育次長 登壇)

久岡教育次長 それでは、私の方からは、総合型地域スポーツクラブ設立への促進についてのご質問にお答えさせていただきます。この総合型地域スポーツクラブについては、議員ご指摘のとおり、基本的な考え方としまして、多種目・多世代・多志向という3つの多様性が発揮できるような地域住民の自主的・主体的な運営で、となっていて、国がこの推進を始めてから10年以上経っています。その中で、会員となる住民の方々は、年会費等を支払って自分がやりたいものに参加するという仕組みになっています。当時、このスポーツクラブを立ち上げるとしてネックと考えたのは、自主的・主体的に動いてくれ、かつそれぞれの分野で責任をもって指導してくれる方の人材というものでした。そういった方々はすでに当時から、それぞれの分野で指導者となっていて、個々に運営されており、このスポーツクラブということで、牟岐町全体を考えた運営という重荷を肩に載せることにならないかという見解でした。もう一点牟岐町としてネックと考えているのは、年会費の徴収です。この総合型地域スポーツクラブの活動には、多種目という観点からスポーツのほかにもサークル活動のような種目もあります。牟岐町では公民館サークルとしまして、当時から現在に至るまで28個ほどのサークル活動がありますが、施設使用料は文化センターを利用する際には、無料開放していましたので、料金がかかっていません。これからのサークルについても年会費を徴収して実施した場合、個々に係る材料費等の上に年会費を払ってまで集まってもらえるのかというのが、第二のネックとなっていました。こういったことから牟岐町では総合型地域スポーツクラブについて、形は違いますが、現実的には実施しているという考え方を持っています。理想としましては、多くの住民の方々が和気あいあいと楽しむ風景は想像しますが、現在の牟岐町では、なかなか困難だと判断しています。また近年、新型コロナウイルスまたその変異株の発生等考慮しますと、必ず運営面の方で厳しくなることが予想され、補助金など町費の必要性や行政の組織化の必要性も想定されます。指導者の人材確保の面から言いますと、現在、教職員の働き方改革によりまして、来年度から土日の部活動を地域の方にお問い合わせするとの動きがでてきていますが、この人材確保についても、現在の牟岐町では苦慮すると考えています。以上のことから、牟岐町では総合型地域スポーツクラブの創設については、現在のところ難しいと考えています。以上です。よろしく申し上げます。

一山議長 久産業課長。

(久産業課長 登壇)

久産業課長 私からは、サルによる現在の被害状況などについてそれぞれのご質問についてお答えします。まず、現在の被害状況とサルの捕獲数は増えているのか。についてですが、町としましては、直接農家の方などから情報を集めており、今年は笹見・喜来地区の被害が多い傾向にあります。徳島県が町と農業共済組合の情報を基に作成している令和2年度の被害状況調査結果では、サルによる被害面積が10アール、被害金額は24万円で主に水稻への被害となっています。また、サルの捕獲数については、令和元年度55頭、令和2年度33頭となっています。次に、廃棄作物などの提供状況についてですが、令和4年5月に発行された広報むぎにサルを檻におびき寄せるために利用されていない農作物(野菜・果物・米等)の提供の協力依頼の記事を掲載したところ、6月9日現在、2件提供の連絡がありました。提供していただいた農作物については有効に活用させていただきます。今後の取り組みについてどの様に進めるか。についてですが令和3年度においてサルによる農林業への被害に対応するために、徳島県の事業を活用し、サル対策の地域研修会の実施、サルの行動範囲調査の実施や移動式大型檻1基を関地区に設置しました。移動式大型檻については、令和4年度より徳島県から無償で借受けています。サルの行動範囲調査の結果から、水稻など作物の作付け状況によって、西又地区から海陽町浅川地区まで移動するサルの行動範囲があることが分かりました。徳島新聞に掲載された捕獲方式は新しい取り組みなのか。についてですが、この捕獲方式は約10年前から全国的に行われている取り組みであるとのこと。今後も、徳島県のご協力を得ながら今まで以上に猟友会との情報共有を積極的に行い、少数でも安定した捕獲を目指して参ります。

一山議長 喜田議員。

喜田議員 ご答弁いただき、ありがとうございます。総合型地域スポーツクラブ設立への促進におきましては、久岡教育次長よりご答弁いただき、現在の町としての一番ベストな対応を行っていることの理解はできました。ただ、町としての設立は厳しいかもわかりませんが、今後、このことについて、前向きな考えや相談などがあった場合には、

教育委員会も是非積極的な対応を取って行っていただきますことをお願いしたいと思
います。また、サル被害対策につきまして、新たな取り組みなどにつきましては、今ま
で町が対策を行っていただいたことを基に、県の力をお借りして、今後もあらゆる手段
を駆使しながら、サル被害対策の撲滅に向けて取り組んでいただきますことをお願いし
まして、私からの質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。